

特 記 仕 様 書 2

本工事における一般交通に対する対策・対応方針は次のとおりである。

1. 本工事箇所については、沿線にR社並びにO社の2社が立地しており、常時車両の出入りが発生する。
2. R社については、大型トラック・トレーラーの出入りがあるが、工事施工日はこれらの車両は通行が不可能となるため、事前に発注者がR社と協議し大型車両は乗り入れしないことを協議済みである。
ただし、工事施工日を2週間前までに決定し、発注者を通じてR社に対し通知しなければならない。
また、R社従業員自家用車駐車場があり、日中においても常時車両の出入りが発生する。小型乗用車の片側交互通行に支障のない様施工方法を計画し、施工当日は交通誘導員を日当たり2名配置すること。
3. O社については、大型トラック(8tクラス、全幅2.3m)の車両が出入りする。O社敷地出入口の工事施工日は、車両の出入りを行わぬよう事前に発注者がO社と協議済みである。ただし、工事所要日数は雨天予備日を除き1日限りとする。
ただし、工事施工日を2週間前までに決定し、発注者を通じてO社に対し通知しなければならない。
また、O社敷地出入口の工事施工日以外においては、O社の大型トラックが工事区間内を通行するため、片側交互通行が可能である工事施工方法とし、機種選定を行うこと。
4. 以上より、請負者は上記条件を十分考慮の上、事前に発注者監督員と協議し、工事施工日及び工事所要日数を決定し施工日の17日前までに監督員に報告すること。同時に、雨天予備日についても決定し監督員に報告すること。
5. 請負者は、上記条件を十分考慮の上施工機械、施工方法を検討し、使用車両、施工機械一覧表を監督員に提出し承認を受けたのち工事着手すること。